

市町村の合併について 考えてみよう



今日本では、いくつかの市や町や村がひとつになって、大きな規模のまちにできないか、「市町村の合併」について、話し合いが行われています。

国は積極的に合併を進めて、現在全国に「3190」ある市町村の数を「1000」くらいまで減らしたいと考えています。

どうして今、市町村合併が話し合われているのでしょうか。

市町村合併が話し合われている理由

その1：生活や仕事では

最近では、昔と違って車や電車が便利になって、多くの人たちがよそのまちに出かけて、買い物や通院、仕事などをするようになりました。

人々の生活のエリアが自分の町以外にも広がっています。



その2：町役場の仕事が

これからは、国と市町村が仕事の役割分担を明らかにして、なるべく市町村が自分達で考え、責任を持って仕事をする方法に変えていこうということになりました。

しかし国は、小さな町や村では、人口などの規模をもう少し大きくしないと、その役割をはたせないのではないかと考えています。



高齢化が進んでいます

小さな町ほど若い人たちが減り、お年寄りが増える高齢化が進んでいます。これがさらに進むと働く人の割合も減り、町を支える力が弱くなって行きます。

お金の問題

今日本では、かつて経験したことのない長い不景気が続き、会社や働く人たちが国や市町村に納める税金の額も少なくなりました。

国や市町村は、いろいろな対策を考えましたが、多くの借金をかかえるようになり、今までのような住民へサービスが続けられない心配があります。



町の将来をよく話し合うことが大切です



このように、いろいろな理由により、合併問題が話し合われています。しかし、市町村にはそれぞれの歴史や文化があり、そして人々の考え方にも違いがあります。

また合併により、すべての課題が解決するわけでもありません。

とにかく自分達の町の将来ですから、みんなでよく話し合っ
て決めなければなりません。

町の産業などはどのように変わるのか

合併すると町の名前や住民の生活ばかりではなく、農業や商工業など、町の産業に影響が出ることも考えられます。

役場や公立の病院などが、とうはいごう統廃合された場合、職員や家族が町からはなれていくことも考えられます。

合併後、中心地域に人や仕事が集まって、周辺地域がすいたい衰退する例も、これまでの合併では見られています。

しせつ 町の施設はどのように変わるのか

町の施設について考えてみましょう

今、それぞれの市町村には、いろいろな目的をもったまちの施設があります。

合併した場合には、大きくなったマチの中で、例えば同じ目的の建物がたくさんある場合には、いくつかにまとめようとする考えも出てきます。



ただ、合併してもしなくても、それぞれの施設を少ないお金で、しかも使いやすくする方法を考えていく必要があります。

たとえば、^{たと}隣町^{となりまち}どうして話し合い、おたがいの施設をそれぞれの住民が使えるようにすることも一つの考え方です。

「私の町には、大きな野球場は無いけど、^{となり}隣の町の野球場を借りることはできないか」など、その他にもいろいろと考えられます。



とにかく、地域の人たちみんなで、よく話し合うことが重要なことです。

市町村合併の問題は、大人でも難しい問題ですが、みなさんも自分のまちの将来をもう一度考えてみましょう。